

地球のためにできること

～6月は、環境月間です～



はいた～い、6月にないびーたん。いったーやーにんじゅー、むるがんじゅーやいびんなー。

今回は、6月の環境月間にちなんで、地球温暖化のこと、少し調べてまいりました。しばしお付き合くださいね。

では、地球温暖化について、今一度、確認してみましょう。

●地球温暖化のしくみ(沖縄県「私たちができる地球温暖化対策(小中(高学年)～中学生向け)より)

地球を包む大気には、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスが含まれています。このガスは太陽からの熱を封じ込めて、地球を暖める力があります。温室効果ガスが適度にある分には、地球の気温がほどよく保たれ、生き物も住みやすい環境になります。ところが、温室効果ガスが増えすぎると、通常であれば宇宙に放出されていた熱の多くが地球の大気にたまったままになり、地球がどんどん暑くなってしまいます。これが地球温暖化のしくみです。

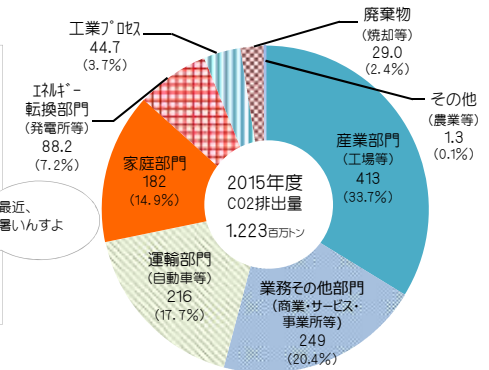


表1:部門別CO2排出量(2015年度)

(資料) 環境省「2015年度(平成27年度)の温室効果ガス排出量(速報値)について」

では、実際に、日本における温室効果ガスの排出量をみてみましょう。

環境省の発表によれば、我が国の2015年度における温室効果ガス総排出量は13億2,100万トン(前年度比△3.0%)、うち二酸化炭素(以下「CO₂」という。)の排出量は、産業部門(工場等)が全体の33.7%と高く、次いで、業務その他部門(商業・サービス・事業所等)20.4%、運輸部門(自動車等)17.7%、家庭部門14.9%と続いています。(表1)

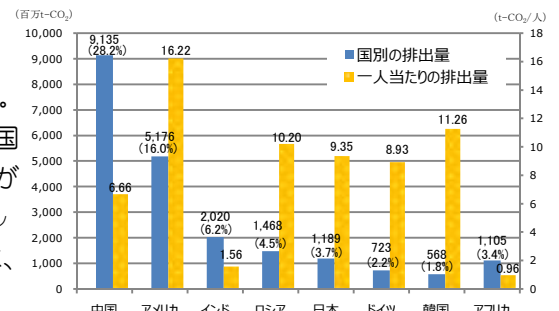


表2:国別エネルギー起源CO2排出量(2014年)

(資料) 環境省「世界のエネルギー起源CO2排出量」

では、これが世界規模だとどうなるのでしょうか。表2をご覧ください。

2014年における全世界のCO₂排出量は324億トンとなっており、第1位の中国が9,135百万トン(28.2%)と世界の1/4以上を占めています。次いで、アメリカが5,176百万トン(16.0%)、インド2,020百万トン(6.2%)、日本は世界第5位の1,189百万トン(3.7%)となっています。このことから、私たち日本の果たすべき役割は、少なからず大きいと言えそうですね。

さてここで、私たちが普段の生活の中で、どの程度、電気や水道を利用し、ゴミを排出しているのかみてみることにしましょう。

まずは、「電気」から。表3をご覧ください。沖縄県の1人1日当たりの電力消費量は4.92kwh(全国46位)と、そんなに多くはないようです。それと対照的なのが、福井、石川、富山の北陸地方。気になったので、その理由について調べてみたところ、北陸地方では、家が大きく部屋数が多いことから、照明、エアコン等の家電が大型化し、数が多くなってしまふ*1とか。所変われば、事情も変わっておもしろいですよね。

次は、「水道」についてみてみましょう。表4をご覧ください。平成24年における沖縄県の1人1日当たりの給水量は339.5ℓ(全国12位)と、割合高いようです。観光客が年々増加していることと何か関係があるのでしょうか…。

では最後に、「ゴミ」です。表5をご覧ください。沖縄県の1人1日当たりのゴミ排出量は545g(全国46位)となっており、全国的に低い位置にあることがわかります。どうやら、ゴミはあまり出さない?県民のようですね。

都道府県名	電力*1消費量(10^6kwh)	人口	1人1日当たり電力消費量*2(kwh/人・日)	順位
全 国	292,205	128,226,483	6.24	
福 井 県	3,121	803,505	10.64	1
石 川 県	3,933	1,159,763	9.29	2
富 山 県	3,522	1,085,710	8.89	3
沖 縄 県	2,609	1,454,023	4.92	46

表3:都道府県別電力消費量(平成26年)

(資料) 資源エネルギー庁「都道府県別エネルギー消費統計」
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成27年1月1日現在)」

都道府県名	年間給水量*1(100万m)	現在給水人口*2(千人)	一人1日当たり給水量*3(ℓ)	順位
全 国	14,354	124,050	317.0	
山 梨 県	117	844	379.8	1
徳 島 県	98.7	727	372.0	2
群 馬 県	264	1,972	366.8	3
沖 縄 県	174.5	1,408	339.5	12

表4:都道府県別給水量(平成24年)

(資料) 総務省「日本統計年鑑」

都道府県名	1人1日当たりの排出量(生活系ごみ)	順位
全 国	660	
群 馬 県	771	1
福 島 県	762	2
茨 城 県	723	3
沖 縄 県	545	46

表5:都道府県別ごみ排出量(平成27年度)

(資料) 環境省「一般廃棄物処理実態調査」
※表3,4,5 県統計課にて順位付け(上位都道府県のみ表示)

と、ざざとみてまいりましたが、いかがでしたか。「電気」や「ゴミ」については、意外や意外、優等生でしたね。ですが、沖縄は、なんととっても自動車大国!! 2013年度における運輸部門(自動車等)のCO₂排出量の割合は、全国だと17.7%のところ沖縄県では27.4%と、結構高くなっています。*2 …なので、ここから少しでもCO₂の削減ができればステキだと思いませんか?

そこで朗報です!! なんと、「ふんわりアクセル「eスタート」(発進時、5秒間で20km/h程度に加速)*3を心がけるだけで年間194.0kgのCO₂削減が期待できるそうですよ。「いやいやいや、それはムリっ!」という方には、「加減速の少ない運転(68.0kg/年のCO₂削減)*3、「早めのアクセルオフ(42.0kg/年のCO₂削減)*3 なんてのもありますが、いかがでしょう?

(出典) ※1 福井県統計課「統計スポーツ情報」
※2 沖縄県環境再生課「沖縄県地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(概要版)」
※3 省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典2012年版」